

赤色立体地図で検証する 多摩丘陵の古街道遺構

- 日時：2020年11月23日（月・祝）
14:00～16:00（開場13:30）
- 会場：多摩市・関戸公民館（8階）大会議室
- 講師：千葉達朗さん（赤色立体地図発明者）
- 参加費（資料代含む）：
一般 1000円 団員 700円
（団員ご夫婦の場合も各自700円）
高校生以下無料

■申込：事前申込不要 当日受付

■定員：70名（先着順）

（コロナ対策として通常定員より入場が制限されています。人数を越えた場合、ご入場できない場合がありますのでご了承ください。）

*窓は全て解放します。

*マスク着用・手指の消毒・検温のご協力をお願いします。

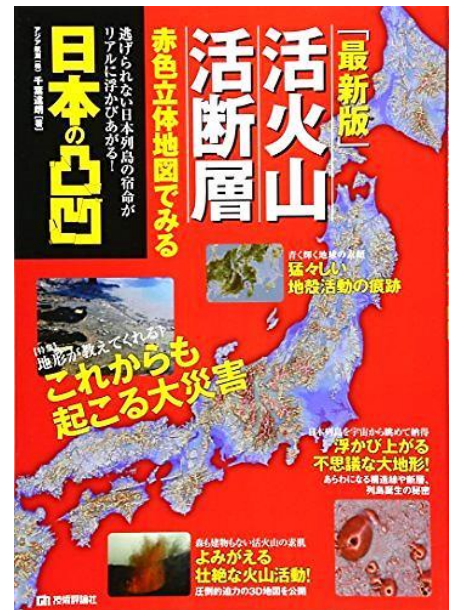
多摩市・関戸公民館（TEL: 042-374-9711）

〒206-0011 東京都多摩市関戸4-72（ヴィータ・コミュニネ内）

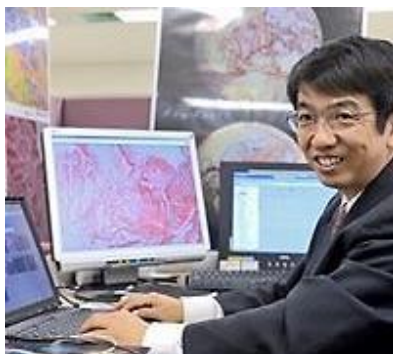
アクセス：京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」西口から徒歩3分

OPAビル8階（VITA内）

【内容】地理空間科学の研究において大注目の「赤色立体地図」を発明された千葉達朗さんに、赤色地図から読み解く大地の歴史、中世の城跡、古道の様相などについて、また、多摩丘陵の古街道群を検証する上での活用の可能性や利用方法などについてお話をさせていただきます。



千葉達朗さんの著書 『最新版 活火山 活断層 赤色立体地図でみる日本の凸凹』



講師：千葉達朗（ちばたつろう）

アジア航測株式会社先端技術研究所 千葉研究室 室長

フェロー 日本火山学会 副会長

地形地質、第四紀学、防災の専門家、赤色立体地図を2002年に発明、その普及に力を注ぐ。あらゆるデータの可視化について研究中。宮城県石巻市出身。相模原市在住。

